

上毛町文化協会芸能部の紹介

30年余りの実技経験を有する渡辺先生指導の下、初心者、経験者の隔たりなく、「楽しい練習」をモットーに和気あいあい練習をしています。太極拳のゆっくりとした動作は心身をリラックスさせ、深い呼吸と組み合わせることで、血流を良くし、特に呼吸器系・消化器系器官に効果があります。また、重心移動の多い動きから体全体の柔軟性が向上し、バランス感覚も養うことができます。健康のために太極拳を始めたいと思った方は、ぜひご連絡ください。たくさんの皆さんの参加をお待ちしています。



上毛太極拳クラブ



■練習日 毎週水曜日 13:30~15:30
■場所 げんきの杜 多目的ホール
●問い合わせ先 笹尾 忠義さん TEL 72-2361

上毛町少年海外体験学習「バンコク友好の翼」
国立チュラロンコーン大学附属小学校児童23名が
上毛町を訪れました

10月1日(土)から8日(土)まで、タイ・バンコクにあるチュラロンコーン大学附属小学校から5年生23名が上毛町を訪れ、町内小学校との体験交流や、日本の家庭生活を体験するホームステイ、両国の交流を記念する植樹、交流会など様々な催しを行いました。

南吉富小学校では、けん玉や竹とんぼなどの昔遊びを行いました。友枝小学校では、書道を通して漢字を学びました。西吉富小学校では生け花体験。唐原小学校では、綱引きや玉入れなどのスポーツを通じた交流を行いました。また、西吉富小学校、友枝小学校では給食も体験しました。

10月2日は、大池公園ふれあいの里で両国の交流を記念し、植樹を実施しました。記念植樹には、8月にバンコクにて渡航研修を行った団員と、今回の訪日でホームステイを受け入れていただいた世帯(小学校5年生)、立命館アジア太平洋大学留学生らが参加し、イロハモミジの植樹を行いました。記念植樹の後は、大平楽ぶらり劇場で演劇を鑑賞し、交流会を行いました。

10月5日は、道の駅しんよしとみにオープンした「ピッツェリアフィエロ」で本格ピッツァを食べました。その後、ふれあいの家京築で上毛町夏祭りを開催しました。夏祭りでは、もちつきや射的、くじ引きなど日本の夏祭りを彷彿させる店が並び日本の文化に触れながら交流しました。参加した両国の子どもたちの笑顔あふれる交流会になりました。

この交流を通じて上毛町は、町の次代を担う児童たちが国際的な視野を持った物の見方、考え方ができる青少年に育つことを期待しています。



第11回上毛町文化祭・文化公演会

11月5(土)、6日(日)の2日間、げんきの杜において、第11回上毛町文化祭が開催されました。芸能ステージにおいては、文化協会会員、新吉富保育所及び南吉富小学校児童など55組が日頃の活動の成果を披露し、観客から盛大な拍手が送られました。

作品展示では、会員、保育所(園)、小中学校など26組から14部門の作品が出品されました。また、囲碁や水墨画体験コーナーが設けられるなど、げんきの杜を訪れた方々は、華やかな文化芸術の世界を満喫していました。

2日目の午後には、上毛町文化公演会において中国雑技特別公演が開催され、雑技団の繰り広げる華麗な演技に満員の会場は、驚きと感激に包まれていました。

2日間にわたり町内の多くの皆さんにご来場いただき、げんきの杜は今年一番の盛り上がりとなりました。



平成28年度九州社会福祉協議会
会長表彰受賞 松本 二三年氏 (東上)

民生委員児童委員は、厚生労働大臣の委嘱を受け、地域住民の身近な相談者・支援者として、地域福祉の向上のために日々活動しています。

この度、東上3区・4区地区担当の松本二三年さんが、民生委員児童委員として15年間従事し、その功績が顕著であると認められ、九州社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。

民生委員児童委員の任期は3年で、松本さんはすでに5期務められ、現在6期目になります。これからも地域のために自分のできることを精一杯やっけていきたいと抱負を述べられました。



平成28年度社会福祉功労者
県知事表彰受賞 井上 浩明氏 (安雲)

福岡県では、社会福祉増進のため、献身的に活動を続け、地域社会の福祉向上に貢献した方を社会福祉事業特別功労者として認定し、福岡県知事から表彰状を授与しています。

この度、安雲拓心苑 施設介護部長 井上浩明さんが、社会福祉事業施設従事者部門において表彰されました。

特別養護老人ホーム安雲拓心苑の開設当初から28年間という永きにわたって勤務し、地域福祉の発展にも熱心に取り組まれてきた功績が認められ、今回の受賞となりました。

これからも地域福祉の発展、福祉のまちづくりのために貢献したいと抱負を述べられています。

